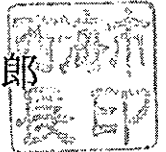


20西海建第542号

平成20年10月8日

国土交通省道路局長 様

西海市長 山下純一郎



今後の道路行政についての意見・提案提出について

標記について平成20年9月19日付け国道企第37号で今後の道路行政についての意見・提案の提出依頼がありましたので、報告いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

長崎県西海市

道路は、住民生活や経済活動を支える最も重要な社会基盤であり、地域活性化推進のためにも主要道路の総合的な交通ネットワークの形成が必要であります。

地方におきましては、道路整備に対する住民ニーズは増大しており、厳しい財政状況の中ではありますが、必要性を精査いただき、真に必要な道路整備については計画的に進めていただきたい。

近年ますます少子・高齢化が一段と進み地域格差を解消するためにも、安心して子育てのできる環境、施設のバリアフリー化など居住環境の整備も急がれており、さらに施設建設年数が経過し老朽化が目立ち、維持管理の重要性が益々高まっているのが状況です。

したがいまして、地域の実情に柔軟に対応していただき、地方にとって必要な道路整備について確実な財源確保をお願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-①地域の現状と抱える課題

様式 ②

長崎県西海市

○現状

西海市は長崎市と佐世保市の間に位置し国道202号、
国道206号の2国道と高規格道路を整備中であります。

住民は、毎日通勤 通学に国道・県道利用しており、
道路は、なくてはならない重要な社会基盤であります。

しかし、高齢化が進むなか、歩道やガードレール、道路灯
などの交通安全施設の整備の遅れが目立ち地域住民から
の要望も多く、安心して暮らせる道路の整備が望まれている。

さらに、建設から長年経過した施設もあり点検・整備を図って
頂き市民が安心して暮らせるような政策をおねがいしたい。

○課題

・交通安全施設の充実

(通勤・通学のための歩道の整備、道路灯の増設)

・幹線道路の線形の改善

(カーブの拡幅・登坂路線の設置・右折車両のための車線の増設)

・観光振興のため、道路としての支援

(アクセスの向上・観光案内板の設置など)

・老朽化した施設の整備

(トンネル・橋梁・擁壁・法面などの点検整備)

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式 ③

長崎県西海市

西海市では、「つながる ひろがる 未来へつづく～健康の里さいかい」を市の将来像と位置付け、市民参加による道路の清掃活動や植栽などを行なう道守活動や県民参加の地域づくり事業(県事業)を推進し、市民と一体となった道路環境づくりを目指します。

既存道路がより快適で利用しやすくなるよう、段差の解消などのバリアフリー化を進め、子どもや高齢者に安心して通行できるよう改善するほか、観光施策と連携した案内板・街路樹の設置を推進します。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

長崎県西海市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活性力の向上	国道202号関係 ①西海町川内～西彼町小迎間カーブの拡幅 高規格道路(西彼杵道路) ①大串インター(仮称)～時津町間の早期着工	通勤・通学時間の短縮 通勤・通学時間の短縮	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	国道202号関係 ①大瀬戸雪川橋の架け替え ②西海町川内郷～丹納郷までの歩道の整備 ③西海町中浦郷付近のガードレール設置 国道206号関係 ①西彼町喰場郷付近及八木原郷中郷付近歩道整備 県道関係 ①県道黒瀬馬込港線自転車道の整備	施設老朽化対策・幅員狭小の解消 通勤・通学者の通行の安全 通勤・通学者の通行の安全 通勤・通学者の通行の安全 通勤・通学者の通行の安全	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成			